

宮古島市農業委員会の【農地利用最適化推進委員】候補者推薦書(個人用)

被推薦者氏名 : 宮古島 一郎

【被推薦者の経歴(職名・役職名など含む)】

昭和XX年X月X日 ~ 平成XX年XX月XX日 株式会社〇〇建設入社、作業員・営業職など

平成XX年X月X日 ~ 退職し、就農開始

平成XX年X月X日 ~ 平成XX年XX月XX日 JA〇〇部会部会長

令和XX年X月X日 ~ 沖縄県野菜品評会にて金賞受賞

令和XX年X月X日 ~ 沖縄県指導農業士に認定

令和XX年X月X日 ~ 令和XX年X月X日 〇〇自治会役員

地域の役員や、ボランティア活動の経験などあれば、それらも記入してください。

【被推薦者の農業経営の状況】

◎ 耕作農地面積(単位は選択) : 240 m²・a(アール) ※ 該当する単位を○で囲んでください。

◎ 経営作目 : とうがん、さとうきび

◎ 年間農業従事日数 : 250 日

◎ 被推薦者の農業経営及び中立委員の経営状況についての説明(下段に記載)

営農〇〇年目。現在は25ミリパイプハウス6棟(15a)でのとうがん栽培と、さとうきび夏植え120a、株出し100aで営農している。主品目であるとうがんの平均反収は現在18トンで、20トンを目標に工夫を重ねている。

【被推薦者の抱負など(自己PR、委員として取り組みたい事項等)】

長年農業経営を続けてきたなかで、地域の農業者が高齢化して農業経営が困難になり、農地が遊休化しつつある現状を目の当たりにしてきた。農業は宮古島の重要な基幹産業なので、高齢化により衰退しないよう、豊かな農地が意欲ある担い手に集約されていくよう取り組んでいきたい。

農業委員会事務局が発行する「農業従事証明書」の添付の有無 ⇒ 添付している ・ 添付していない

※3枚目の「農地利用最適化推進委員の活動区一覧」は提出の必要はありません。

次のページへ